

# 富山薬窓会（富山大学薬学部同窓会）

## ●同窓会の概要

会員数：8,766名（現存会員数 6,546名）

富山大学薬学部の変遷のため、会員は、富山薬学専門学校、富山大学薬学部、同専攻科、同大学院、富山医科薬科大学薬学部、同大学院の卒業生および修了生、富山大学薬学部、同大学院の在校生、富山大学薬学部、和漢医薬学総合研究所の現教職員ならびに附属病院薬剤部の現教員、母学ならびに前身校の旧教職員よりなる。

会誌：「遠久朶」年1回発行（昨年度 第84号発刊）

支部：北海道、宮城県、山形県、福島県、首都圏、新潟県、長野県、富山県、石川県、福井県、静岡県、愛知県、三重県、近畿、兵庫県、山陰（鳥取県、島根県）、岡山県、広島県、山口県、徳島県、九州、沖縄県、台湾、中国

支部活動は活発で、支部独自の総会・講演会・懇親会等が行われている。

富山大学薬学部沿革：

- |             |   |
|-------------|---|
| 1690年頃      | 富山藩第2代藩主・前田正甫公、薬業を奨励し、反魂丹を中心とした配置売薬業「越中富山の薬売り」を全国に展開  |
| 1893（明治26年） | 本学薬学部の萌芽、共立富山薬学校創立  |
| 1897（明治30年） | 富山市立富山薬学校に改組  |
| 1910（明治43年） | 富山県立薬学専門学校に改組（長井長義博士祝賀演説）   |
| 1921（大正10年） | 官立富山薬学専門学校（富山薬専）に改組   |
| 1949（昭和24年） | 富山大学薬学部として再編  |
| 1963（昭和38年） | 大学院修士課程の設置<br>薬学部附属和漢薬研究施設新設  |
| 1974（昭和49年） | 附属和漢薬研究施設が和漢薬研究所に昇格   |
| 1975（昭和50年） | 富山医科薬科大学新設に際し薬学部として参加   |
| 1978（昭和53年） | 大学院博士課程の設置  |
| 1990（平成2年）  | 薬剤設計学講座と薬物生理学講座の新設  |
| 1992（平成4年）  | 開学百周年   |
| 2000（平成12年） | 大学院薬学研究科臨床薬学専攻設置  |
| 2005（平成17年） | 富山医科薬科大学創立30周年<br>三大学統合により富山大学薬学部として再編<br>和漢薬研究所の名称改め和漢医薬学総合研究所が開所                                      |
| 2006（平成18年） | 薬学部を改組<br>薬学科（6年制）と創薬科学科（4年制）を設置<br>大学院を統合・改組<br>薬学研究科、医学系研究科、理工学研究科を統合・改組し、医学薬学教育部、生命融合科学教育部、理工学教育部を設置 |



富山薬専



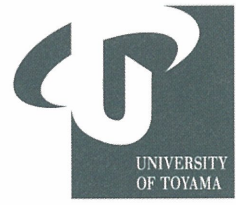
(旧) 富山大学



富山医薬大 (旧)



富山医薬大 (新)



(新) 富山大学

### 富山大学杉谷（医療系）キャンパス

